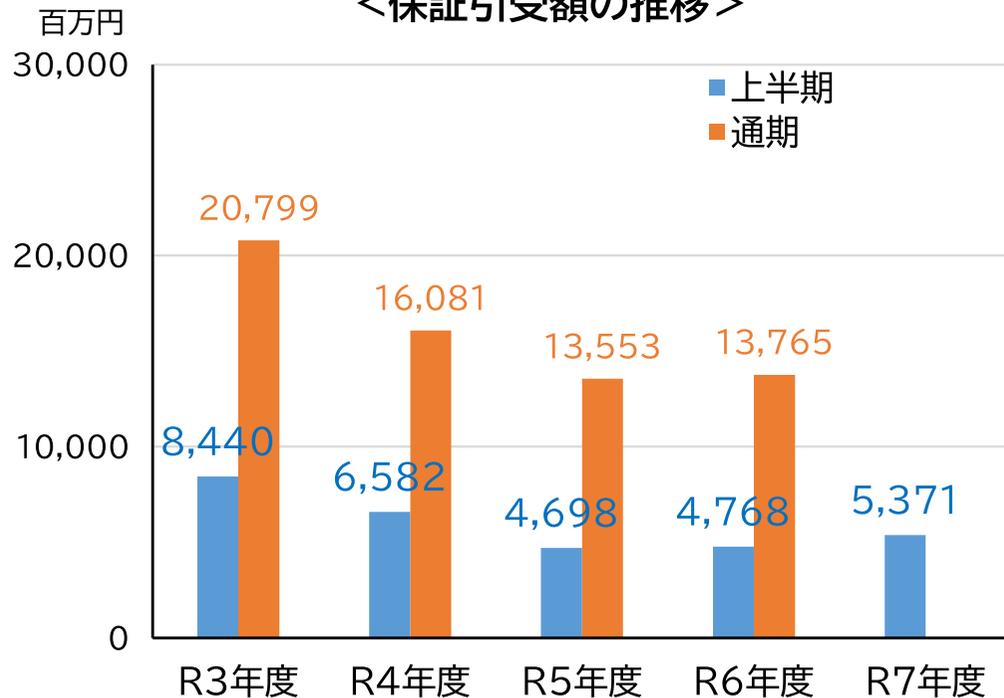


林業信用保証業務の概況(令和7年度上半期)

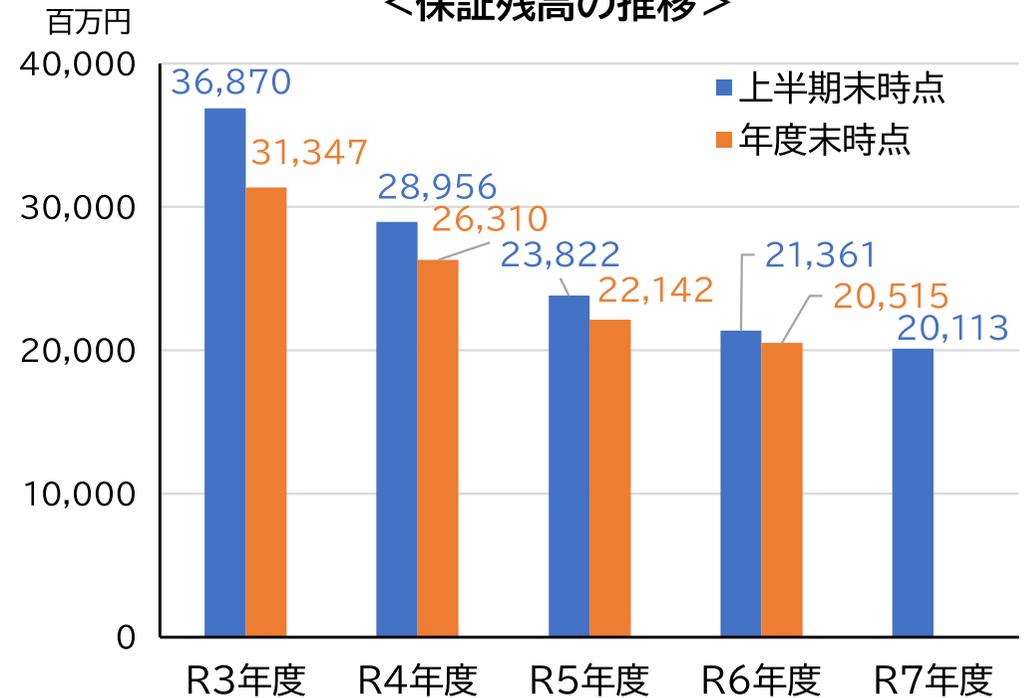
1 保証引受

- 令和7年度上半期(4～9月)の保証引受は、54億円(前年同期比112.6%)であり、前年同期と比較して持ち直しの兆しが見える。要因としては素材生産業が前年同期比で6.1億円増加したことが挙げられる。
- 一方、保証残高は、上記の通り増加傾向で推移したものの、代位弁済による減少を補うまでには至らず、引き続き減少傾向となった。
- 今後も、資金を必要とする林業者等に適切に信用保証サービスが提供できるよう、融資機関との連携強化等に取り組む。

<保証引受額の推移>



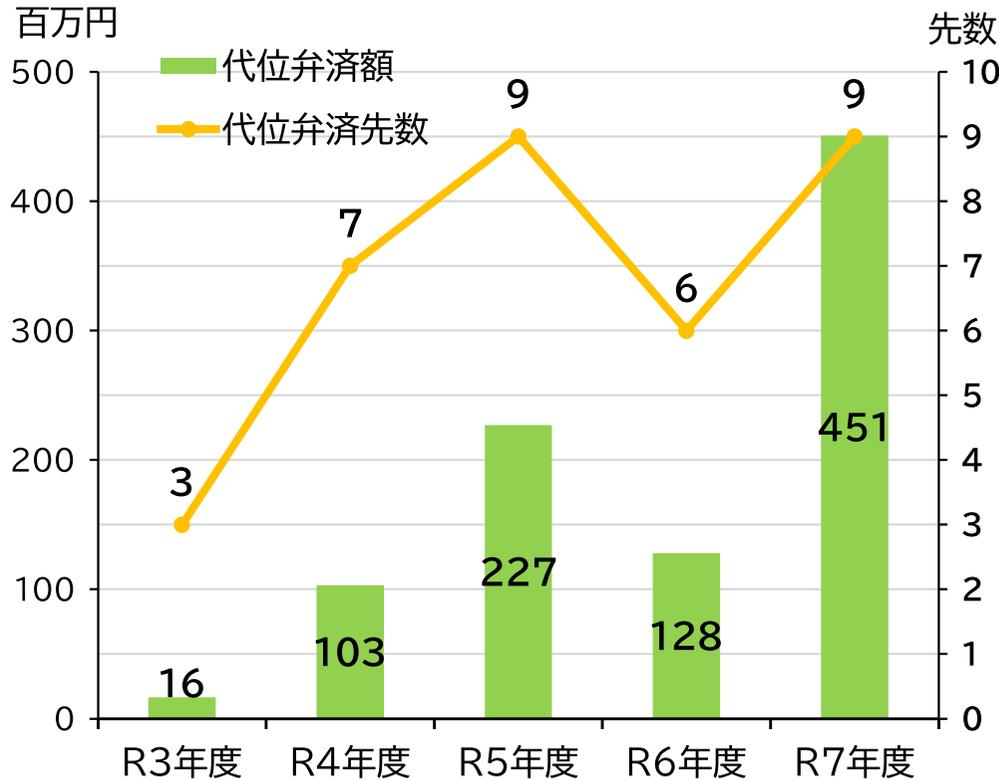
<保証残高の推移>



2 代位弁済

- 令和7年度上半期の代位弁済は、451百万円(前年同期比352.6%)、先数は9先(前年同期比150.0%)となった。
- 代位弁済額の増加は令和6年度末に倒産した大口保証先の代位弁済(1先332百万円)が6月に発生したことが主要因であり、代位弁済事由は販売不振が殆どである。
- 日銀短観の業況判断(木材・木製品の中小企業DI)は依然マイナス水準であること、燃料費高騰や人手不足等の影響もあることから、引き続き状況の注視が必要。あわせて、期中管理等を適切に行い、林業者等が事業継続できるよう融資機関と連携し、条件変更等に柔軟に対応する。

<代位弁済(金額・先数)の推移>



※各年度とも、上半期(4~9月)実績を計上。

<代位弁済事由の内訳(先数)> ※各年度とも、上半期(4~9月)実績を計上。

	販売不振	放漫経営	他社倒産の余波	既往のシワ寄せ	その他	合計
R7年度	7	0	0	0	2	9
R6年度	3	1	1	0	1	6

<中小企業の業況判断指数(DI)の推移>

	2025年		
	3月	6月	9月
全産業	10	10	9
木材・木製品	▲8	▲7	▲6

注:1 日銀短観(日本銀行の全国企業短期経済観測調査)より作成。
2 DIとは、「景気が良い」と感じている企業の割合から、「景気が悪い」と感じている企業の割合を引いたものである。

<倒産の状況> (単位:件)

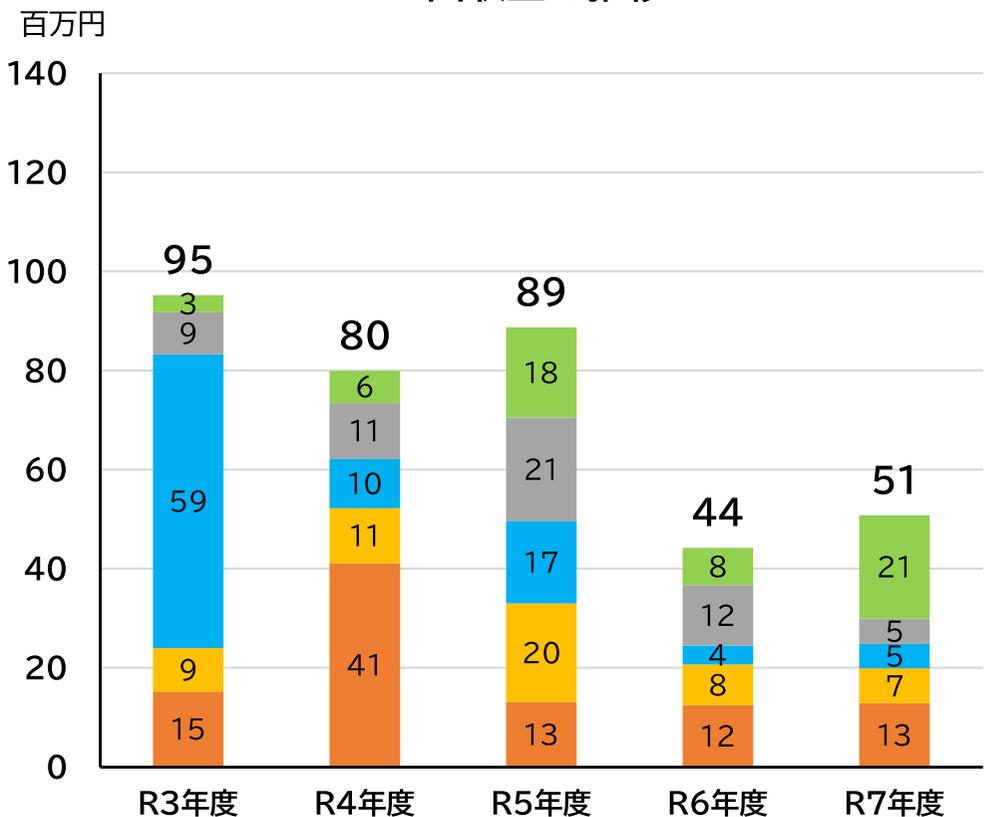
	2025年		
	1-3月	4-6月	7-9月
全企業	2,457	2,533	2,639
木材・木製品	9	10	6

注: 株式会社東京商工リサーチ「倒産月報」より作成。

3 回収金

- 令和7度上半期の回収金額は、51百万円(前年同期比114.8%)となった。
- 求償権残高・先数は、増減はあるものの、ここ5年間は微増傾向。
- 引き続き、求償権先の状況等に応じてサービサーも有効活用しながら、効果的な回収に取り組む。

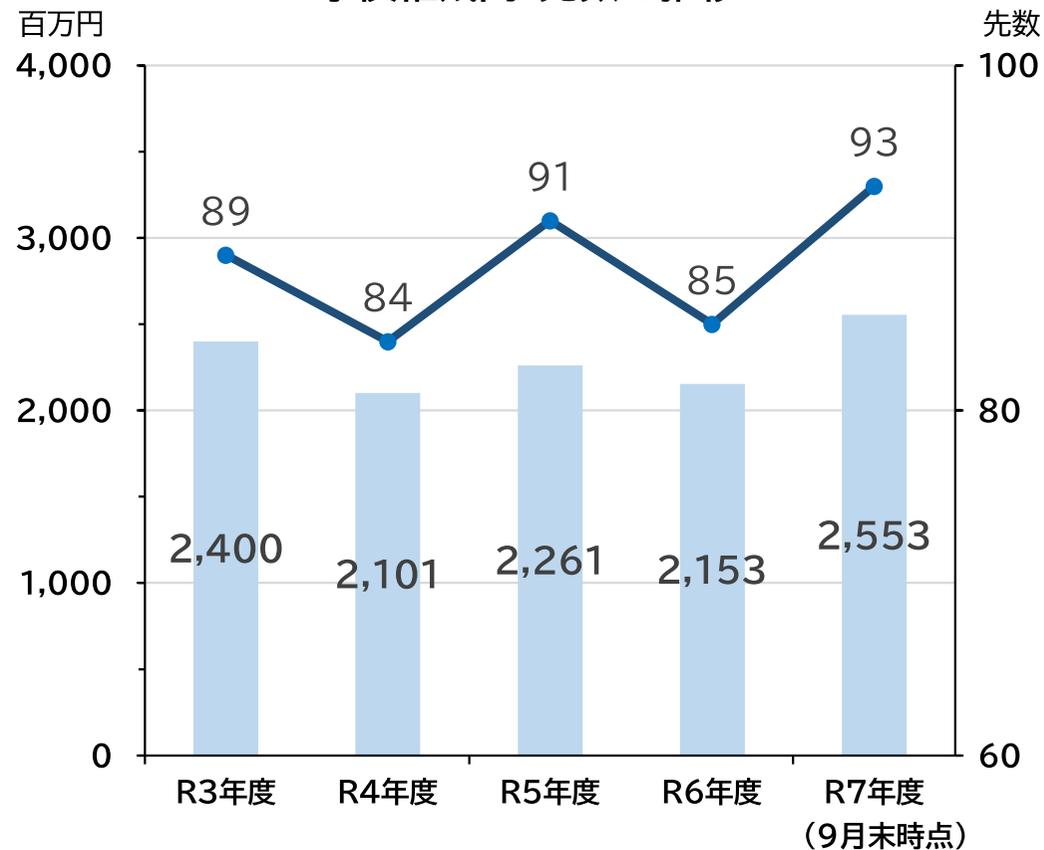
<回収金の推移>



■ 債務者からの回収 ■ 担保処分回収 ■ 保証人等からの回収
■ 清算金配当 ■ 出資金からの回収

※各年度とも、上半期(4~9月)実績を計上。

<求償権残高・先数の推移>



■ 求償権残高 ● 求償権先数